

【学習活動の概要】

1	単元名	学校の周りの地域の様子													
2	単元の目標	学校の周りの地域の様子を観察，調査したり，四方位，地図記号などを用いて平面地図にまとめたりして調べ，地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。													
3	評価規準	<p>【社会的事象への関心・意欲・態度】 自分たちの住んでいる身近な地域の様子に関心をもち，それを意欲的に調べ，その特色を考えようとしている。</p> <p>【社会的な思考・判断・表現】 自分たちの住んでいる身近な地域の様子から学習問題を見いだして追究し，身近な地域の様子は場所によって違いがあることについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。</p> <p>【観察・資料活用の技能】 自分たちの住んでいる身近な地域の様子を的確に観察，調査したり，具体的資料を活用したりして必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。</p> <p>【社会的事象についての知識・理解】 学校の周りの地域の様子は場所によって違いがあることを理解している。</p>													
4	教材	社会科のスタートの単元である。学校の周りの特色ある地形，土地利用の様子，主な公共施設などの場所の働き，交通の様子，古くから残る建造物などを教材として，地域の地理的環境を理解することをねらうものである。実際に観察，調査して分かったことを，言葉にしたり平面地図にまとめたりすることで，分布の様子と地形的な条件や社会的な条件との関連が分かってくる。その後の学習を考えれば，特に観察，調査したことを言葉や文で表現する学習活動が大切になる。													
5	主な学習活動	<p>(1) 単元の指導計画（全 13 時間）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 45%;">学習活動</th> <th style="width: 40%;">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">第 1 次</td> <td>○学校の周りの地域の様子を調べる学習問題をつくり，学習計画を立てる。(3)</td> <td rowspan="2">・地域の様子について知っていることを思い起こして発言させ，調べようとする関心・意欲を高めるようにする。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第 2 次</td> <td>○学校の周りの地域の様子を調べる。(4) ○調べたことを平面地図にまとめる。(3)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第 3 次</td> <td>○地図に表した学校の周りの地域の様子を見て場所の違いの様子を話し合う。(2)</td> <td rowspan="2">・地図にまとめることで，場所の様子の違いを見付けさせ，発表させる。 ・紹介文を書くことで「地域の特色やよさ」にあらためて気付かせるようにする。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第 4 次</td> <td>○調べたことや考えたことをもとに自分たちの地域の紹介文を書く。(1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 本時の学習（10 / 13）</p> <p>①目標 学校の周りの様子について調べてきたことを，写真と地図をつないで確かめるようにする。</p> <p>②展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地図記号と関連させながら，調べたことを表した地図を振り返る。</li> <li>○観察したときに撮影した風景の写真を方位ごとに分類する。</li> <li>○分類した結果を話し合う。</li> <li>○写真を地図に位置付けて，学校の周りの様子について話し合う。</li> </ul>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第 1 次	○学校の周りの地域の様子を調べる学習問題をつくり，学習計画を立てる。(3)	・地域の様子について知っていることを思い起こして発言させ，調べようとする関心・意欲を高めるようにする。	第 2 次	○学校の周りの地域の様子を調べる。(4) ○調べたことを平面地図にまとめる。(3)	第 3 次	○地図に表した学校の周りの地域の様子を見て場所の違いの様子を話し合う。(2)	・地図にまとめることで，場所の様子の違いを見付けさせ，発表させる。 ・紹介文を書くことで「地域の特色やよさ」にあらためて気付かせるようにする。	第 4 次	○調べたことや考えたことをもとに自分たちの地域の紹介文を書く。(1)
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点													
第 1 次	○学校の周りの地域の様子を調べる学習問題をつくり，学習計画を立てる。(3)	・地域の様子について知っていることを思い起こして発言させ，調べようとする関心・意欲を高めるようにする。													
第 2 次	○学校の周りの地域の様子を調べる。(4) ○調べたことを平面地図にまとめる。(3)														
第 3 次	○地図に表した学校の周りの地域の様子を見て場所の違いの様子を話し合う。(2)	・地図にまとめることで，場所の様子の違いを見付けさせ，発表させる。 ・紹介文を書くことで「地域の特色やよさ」にあらためて気付かせるようにする。													
第 4 次	○調べたことや考えたことをもとに自分たちの地域の紹介文を書く。(1)														

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・社会の第3学年及び第4学年の内容（1）では、「自分たちの住んでいる身近な地域や市（区、町、村）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする」、「ア 身近な地域や市（区、町、村）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など」と示されている。また、第3の指導計画作成上の配慮事項として「観察や調査・見学などの体験的な活動やそれに基づく表現活動の一層の充実を図ること」が示されている。『小学校学習指導要領解説 社会編』においては、学年の目標に関する記述として「調べたことや地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを相手にも分かるように表現することができるようにする」ことが示されている。

第3学年では、地域を観察、調査して体験的に学ぶ活動、体験したことを言葉にする学習活動を積み重ねることが大切である。本事例では、第2次で、地域を観察してメモを取ったり、聞き取り調査などを行ったりして、メモや自分の体験したことをもとに白地図に地域の様子をまとめていった。また第3次で、地図を見ながら「駅のまわりにお店が多い」など、調べたことを関連付ける学習を行い、第4次で、これまで調べたことや考えたことを基に紹介文にまとめ、伝え合うことにより、学校の周りの地域の様子についての理解を深めていけるようにした。

このように、社会的事象を観察したり、調査を行ったりしたことを、絵地図や地図記号を使った平面地図にまとめた。つまり、「観察→絵地図→平面地図」と調べたことを地図に表し、考えていくことで、学校の周りの地域の様子は場所によって違いがあることを理解できるようにした。

【言語活動の充実の工夫】 —写真を見て話し合いながら平面地図にまとめる—

言語活動を充実するためには、「話し合いたい」「書いて伝えたい」など、言語を使いたくなる状況をつくることが大切である。

ここでは、以下の学習活動を考えた。

○調べたことを基に相談しながら  
写真を方位ごとに分類させた。



学校の周りを地図で表した後、観察したときに撮影した写真を児童に渡した。一人一人が写真を方位ごとに分類する活動を通し、具体（体験を通して見た事物）と抽象（地図）をつなげていくことができるようにした。例えば、県庁が入った写真であれば、地図上で県庁の地図記号を探し、その後、方位ごとに写真を位置付けていくのである。（右図）

個人で活動を進めていると、児童は、記憶が曖昧だったり、写真の読み取りに不安を覚えたりして、友達と相談したかったので、隣の友達やクラス全員で話し合う時間を設けた。「この写真は、木がたくさんあり、後ろに線路があるから南の方です」と、調べたことを根拠に、地図と写真をつなげながら自分の考えを相手に伝えるようにした。

「言語を使いたくなる状況」「言語を使う必要性を感じる状況」を効果的に設定することで、児童が主体的に言語活動を充実するようになって感じた。

